

事務事業名	環境保全対策事業	事業期間	2005 ~	年度	係内番号	01
担当部署	市民環境部	環境課	環境保全係	連絡先	263	

政策番号	03	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	環境基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			基本計画②	01	環境基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	01	環境基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		

予算事業名	環境保全対策事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	06	事業	02
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)

①環境基本計画に基づき、持続可能なまちづくりを図るために総合的かつ計画的に環境保全等を推進する。
 ②自然公園内の環境美化、登山道などの現況確認等をするためにグリーンパトロールを実施する。
 ③特定外来植物の繁茂拡大を防止するために普及啓発活動を推進する。
 ④太陽光発電施設の適正な設置等について条例化したので適切に運用する。

現状と背景
(どうして)

①地球環境や社会情勢の大きな変化に対応するために、環境面から持続可能なまちづくりを図る必要がある。
 ②登山道の環境美化、安全確保を図ることで、登山者のマナー向上及び自然公園の環境を保全する必要がある。
 ③既に繁茂している特定外来生物の被害拡大を食い止めるためには継続的な駆除が必要である。
 ④太陽光発電事業者に対して事業の適正化をより強く促す必要がある。
 (※) 2020年度から「生物多様性事業費」を統合する。

目的

受益者 (誰のために) 市民
 対象 (直接働きかける) 市民、事業者、滞在者、グリーンパートナー (②)、太陽光発電事業者 (④)

意図 (どんな状態にしたいか)

①環境基本計画に基づき市民、事業者、滞在者ととも環境をとりまく課題に対応していく。
 ②グリーンパトロールを通じて自然公園内の環境美化、登山道整備が維持されて登山者のマナーが向上する。
 ③特定外来生物駆除の必要性が認識され、駆除活動の広がりにより繁茂拡大を防止する。
 ④生活環境の保全及び市民生活の安全の確保が十分に配慮され、適正な手段で太陽光発電施設が設置、管理される。

手段・方法
(どうやって)

①環境審議会等を通じて環境を取り巻く課題に対応する。
 ②グリーンパートナーの会員数を確保して年間を通じたグリーンパトロールの実施に努める。
 ③特定外来生物駆除に関する普及啓発及び参加型の駆除活動を実施する。
 ④条例で規定された手続きを適正に運用する。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	外来生物駆除作業の実施	駆除実施回数	回	駆除作業の実施回数
	2	グリーンパートナーの確保	会員数	人	グリーンパートナーの会員数	44
	3					
変更履歴	指標：～H29年度（外来植物の勉強会回数、チラシ配布数・回覧回数、パトロール実施日数、グリーンパートナー会員数） ⇒H30年度～（駆除実施回数、グリーンパートナー会員数）					
成果指標	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	外来生物駆除作業の年間活動延べ人数	駆除活動延べ人数	人	駆除作業の延べ従事者数
	2	グリーンパートナー年間活動延べ日数	パトロール日数	日	グリーンパトロールの実施延べ日数	210
変更履歴	指標：～H29年度（危険個所の情報非収集率、ゴミ非散乱率）⇒H30年度～（駆除活動延べ人数、パトロール日数）					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	財源内訳	事業費等(a)	円	342,442	428,234	717,000		
国庫支出金		円						
県支出金		円						
地方債		円						
その他特定財源		円	34,054	25,135	33,000			
	一般財源	円	308,388	403,099	684,000			
活動指標	駆除実施回数	目標	回	8	8	8		
		実績		13	14			
		達成率	%	162.50	175.00	-	-	
	会員数	目標	人	44	44	44		
		実績		38	39			
		達成率	%	86.36	88.64	-	-	
-	目標	-						
	実績							
	達成率	%	-	-	-	-		
成果指標	駆除活動延べ人数	目標	人	160	160	160		
		実績		182	225			
		達成率	%	113.75	140.63	-	-	
	パトロール日数	目標	日	210	210	210		
		実績		215	218			
		達成率	%	102.38	103.81	-	-	

備考 2018～「環境保全対策事業(02040101)」、「生物の多様性確保事業(02040110)」を統合

事務事業名	環境保全対策事業		事業期間	2005	～	年度	係内番号	01
担当部署	市民環境部	環境課	環境保全係			連絡先	263	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		外来生物駆除作業及びグリーンパートナーの活動は概ね目標を達成している。	外来生物駆除作業及びグリーンパートナーの活動は概ね目標を達成できた。		
価値（総合評価課題）	成果	市が関与する範囲では、一定の成果が挙げられている。	・外来生物駆除継続的に駆除作業を行っている場所ではわずかであるが外来生物(植物)が減少している。 ・グリーンパートナー東京などの都市圏からグリーンパートナーへの応募が増えている。			
	課題	外来生物駆除及びグリーンパートナー共に活動を継続的に続けていく必要がある。高齢化が進む中で新たな担い手の確保が課題である。	茅野市内では職員や市民団体・ボランティアなどで特定外来生物(植物)の駆除を行っているが、生息範囲は年々拡大している。			
改革	翌々年度方向性	成果	現状維持	現状維持		
	コスト	現状維持	現状維持	現状維持		
改善の方向性（ACT）	改善の方向性の内容	環境保全に関わる取組は、長年に渡り継続していくことが重要である。時代の変化に柔軟に対応しつつ、良好な自然環境を維持できるように普及啓発活動を継続していく。	環境保全に関わる取組は、長年に渡り継続していくことが重要である。時代の変化に柔軟に対応しつつ、良好な自然環境を維持できるように普及啓発活動を継続していく。			

作成担当者	朝倉 健太	朝倉 太一			
最終評価責任者	平沢 幸人	小池 俊正			
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日			